

2024年度・2025年度 教職課程の自己点検・評価結果

通し番号	基準領域	基準項目	評価項目	2024年度・2025年度 教職課程の自己点検・評価結果	根拠資料
1	協共（ 働通 理的 な解 取に り基 組づ みく 教職 課程 に関 わる 教職 員の	基準項目1-1  教職課程教育に対する目的・目標の共有	① 目的・目標、育成を目指す教員像について教職課程に関わる教職員が共通理解をしている。	目的・目標、育成を目指す教員像について教職課程に関わる教職員が共通理解をしている。	・『履修の手引』 ・大学HP
2			② 教職課程教育を通して育もうとする学修成果（ラーニング・アウトカム）が具体的に示されている。	教職課程教育を通して育もうとする学修成果（ラーニング・アウトカム）が具体的に示されている。	・シラバス
3			③ 教職課程教育の目的・目標を学生に周知している。	教職課程教育の目的・目標を学生に周知している。	・『履修の手引』 ・大学HP
4		基準項目1-2  教職課程に関する組織的工夫	① 研究者教員と実務家教員及び事務職員との協働体制を構築している。	研究者教員と実務家教員及び事務職員との協働体制を構築している。	・実習関係委員会及び教育支援センター規程
5			② 教職課程に関する自己点検・評価のために教職課程委員会が設置され、組織的に運営している。	教職課程に関する自己点検・評価のために教職課程委員会が設置され、組織的に運営している。	・教職課程委員会規程
6			③ 教職課程の質的向上のためにFDやSDの取り組みを展開している。	教職課程の質的向上のためにFDやSDの取り組みを展開している。	・FD委員会及び実習関係委員会会議資料
7			④ 教職課程に関わる情報公開を行っている。	教職課程に関わる情報公開を行っている。	・大学HP ・『教育支援センター報告書』
8			⑤ 教職課程教育を行う上での施設・設備が適切に整備されている。	教職課程教育を行う上での施設・設備が適切に整備されている。	・学生生活ハンドブック ・図書館蔵書 ・教育支援センター規程及び『教育支援センター報告書』
9	育成（ ・基 ・準 ・キ ・領 ・域 ・リ ・2 ・） 支 学 援 の 確 保 ・	基準項目2-1  教職を担うべき適切な人材（学生）の確保・育成	① 受験生に対して教職課程に関する情報公開している。	受験生に対して教職課程に関する情報公開をしている。	・大学HP ・『大学ガイドブック』
10			② 当該教職課程で形成すべき能力がDP等に示されている。	当該教職課程で形成すべき能力がDP等に示されている。	・大学HP
11			③ 当該教職課程で形成してほしい能力についてDP等やガイダンスで示している。	当該教職課程で形成してほしい能力についてDP等やガイダンスで示している。	・『履修の手引』 ・履修カルテ（2）
12	基準項目2-2  教職へのキャリア支援	教職へのキャリア支援	① キャリア支援について組織的に適切に行っている。	キャリア支援について組織的に適切に行っている。	・CDC資料
13			② 学生の学修状況に応じたきめ細かな指導を行っている。	学生の学修状況に応じたきめ細かな指導を行っている。	・履修カルテ（1）（2）
14			③ 教職に就くための各種情報を適切に提供している。	教職に就くための各種情報を適切に提供している。	・CDC資料
15			④ 教員免許状取得件数、教員就職率を高める工夫をしている。	教員免許状取得件数、教員就職率を高める工夫をしている。	・教育支援センター規程 ・CDC資料

16	（基準領域3）適切な教職課程カリキュラム	基準項目3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施	① 教職課程の根幹がDP、CP等に示されている。	教職課程の根幹がDP、CP等に示されている。	・『大学ガイドブック』 ・大学HP
17			② 学生自身によるアクティブ・ラーニング（「主体的・対話的で深い学び」）を促す工夫に取り組んでいる。	学生自身によるアクティブ・ラーニング（「主体的・対話的で深い学び」）を促す工夫に取り組んでいる。	・シラバス
18			③ コアカリキュラムに対応した教職課程のカリキュラムを提供している。	コアカリキュラムに対応した教職課程のカリキュラムを提供している。	・コアカリキュラム対応表 ・シラバス
19			④ 教育実習に臨む上での必要な履修要件を設定している。	教育実習に臨む上での必要な履修要件を設定している。	・『履修の手引』
20			⑤ 教職課程カリキュラムにおいて「履修カルテ」の活用を図っている。	教職課程カリキュラムにおいて「履修カルテ」の活用を図っている。	・履修カルテ（1）（2）
21			⑥ ICT 機器活用にかかわった施設設備等が整っている。	ICT 機器活用にかかわった施設設備等が整っている。	・学生生活ハンドブック ・電子黒板等の器材
22	実践的指導力養成と地域との連携	基準項目3-2	① 様々な体験活動（ボランティア、インターンシップ、介護等体験等）とその省察の往還の機会を提供している。	様々な体験活動（ボランティア、インターンシップ、介護等体験等）とその省察の往還の機会を提供している。	・教職ポートフォリオ ・実地体験活動要項
23			② 教育委員会等との組織的な連携協力体制を構築している。	教育委員会等との組織的な連携協力体制を構築している。	・実習連絡協議会資料 ・各実習関係委員会資料 ・実習の手引き
24			③ 教育実習の協力校（園）との連携を図っている。	教育実習の協力校（園）との連携を図っている。	・実習連絡協議会資料 ・各実習関係委員会資料

#### その他項目

前期（2022年度・2023年度）からの改善点	実習等におけるハラスメント防止、及び相談体制の構築へむけての準備が進んだ。
今後の改善点	教職課程に求められる事項の実質化を図るために、教職課程におけるFDを充実させる等の取り組みを通し、教職課程の内部質保障を行っていく必要がある。